

イージーアップ配線ダクト

(一般屋内用)

	フラットタイプ 品番			深型タイプ 品番	
	W150	W220	W300	W220	W300
入力 100V 出力 100V	DH(H)02300	DH(H)02301	DH(H)02302	DH(H)02303	DH(H)02304

※上記 () 内は加工品番です。(以降、加工品番の記載を省略します。)

・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼して下さい。

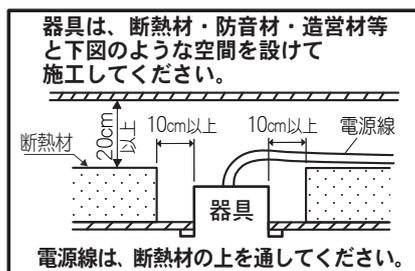
施工説明

工事店様へ、この説明書は保守のためお客様へ必ずお渡しください。

安全に関するご注意

警告

- 施工は、施工説明にしたがい確実に行う。施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。
- 断熱材、防音材をかぶせて使用しない。火災の原因となります。
- 住宅の断熱施工天井には使用しない。
- 水平天井埋込専用です。ほかの取付はしない。落下・感電・火災の原因となります。
- 器具を分解、改造しない。落下・感電・火災の原因となります。
- 表示された電源電圧（定格電圧±6%）・周波数で使用する。指定外の電源電圧・周波数で使用すると、感電・火災・故障の原因となります。
- 器具の定格の範囲で使用する。定格を超えると落下・感電・火災の原因となります。
- ダクトからのコンセント出力禁止。火災の原因となります。
- ダクトにはアースがありません。アースが必要な照明器具は取付けない。感電の原因となります。



注意

- 直射日光の当たる場所、湿気が多い場所、振動の強い場所、雨水のかかる場所、風の強い場所、腐食性ガスの発生する場所、油煙のあがる場所、ヒーターの上部など熱の影響を受ける場所では使用しないでください。落下・感電・火災の原因となります。
- 周囲温度は、5~35℃で使用してください。指定外の周囲温度で使用すると、短寿命や照明器具のちらつきの原因となります。
- ダクトに照明器具を取付けた状態でスライドさせない。接触不良により、火災の原因となります。
- 器具の取付・取外しは手袋などの保護具を使用する。けがのおそれがあります。

施工上のご注意

- ・コネクタ接続の際は、必ず電源を切ってから行ってください。通電状態でコネクタ接続を行った場合、故障の原因となります。
- ・有効ダクト長さは約900mmです。それ以上の長さを要する照明器具は取付けられません。
- ・埋込ダクトに取付かない器具、直付ダクト専用器具は取付けられません。
- ・ダクト取付用ネジ(3箇所)の位置には、照明器具のプラグ部を取付けられません。
- ・調光器や1.5Aより容量の小さいスイッチなどと合わせて使用する場合、送り回路の容量制限がある場合は、識別表示や容量表示など誤使用の防止を施してください。

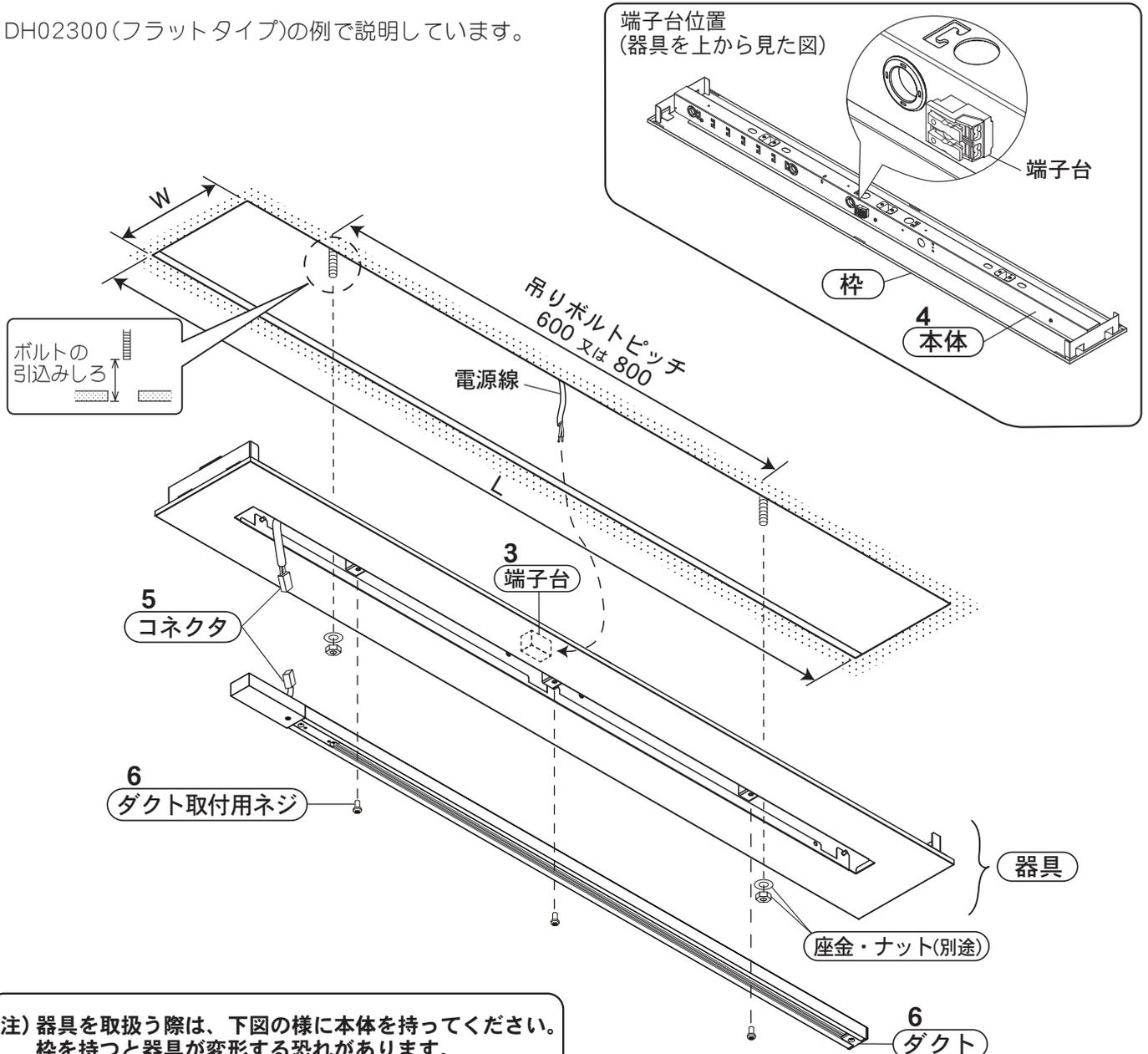
各部のなまえと取付方法

品番	埋込穴寸法：W×L	吊りボルトピッチ	埋込高さ	ボルト引込しろ
DH02300	150×1235	600 又は 800	40	15～30
DH02301	220×1235			
DH02302	300×1257			
DH02303	220×1235	600 又は 800	100	75～90
DH02304	300×1257			

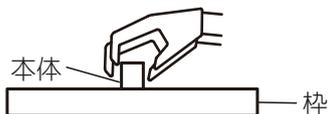
● 取付前の準備

- 既設の取付ボルトの長さを事前にご確認ください。
- 注) 器具高さが異なる場合、取付ボルトの長さの調整が必要になる場合があります。取付ボルトが短く器具に届かない場合は、吊ボルト金具(中間用)などを別途手配していただき長さを調整してください。
- 取付ボルトが長すぎてダクトと接触すると落下の原因となります。**
- 取付の前にダクトを器具から外してください。
- ①ダクト取付用ネジ(3本)を外す ②器具側コネクタのツメを押しながらコネクタを引き抜く

・DH02300(フラットタイプ)の例で説明しています。



注) 器具を取扱う際は、下図の様に本体を持ってください。
枠を持つと器具が変形する恐れがあります。



各部のなまえと取付方法(続き)

1. 取付前の確認

- ・既設器具取替の場合、周辺機器の電気容量を確認する。
- ・器具質量(DH02304:5.2kg)と最大照明器具合計質量(15kg)に十分に耐えるよう、ボルト取付部の強度・天井材の強度を確保する。(取付ボルトは、W3/8またはM10を使用する)
不備があると器具落下の原因となります。

2. 埋込穴の開口

- ・埋込穴、取付ボルトを左図のように用意しておく。
- ・詳細寸法は左表参照。
- ・電源線を埋込穴より引き出しておく。

3. 電源線の接続

安全施工のため、必ず作業は2名以上で行ってください。

- ・電源線を端子台に確実に差し込む。
- ・端子台の送り容量は20Aです。
接続が不完全な場合、容量オーバーした場合、
火災の原因となります。

4. 本体の取付

安全施工のため、必ず作業は2名以上で行ってください。

- ・本体を取付ボルトにボックスレンチなどで確実に締付け固定してください。(推奨トルク値:0.5 N・m)
注) 強く締め過ぎると枠が変形したり、天井板と枠との隙間が大きくなります。

5. コネクタの接続

- ・本体側コネクタを灯具側コネクタに確実に接続する。
カチッと音がするまで差し込む。
不備があると不点灯の原因となります。

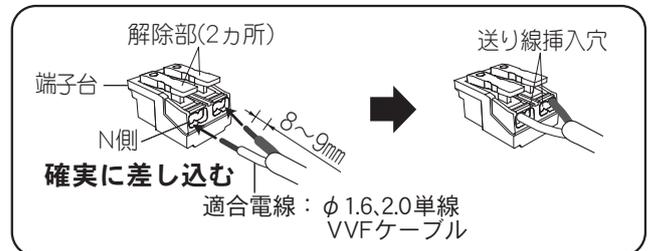
6. ダクト器具の取付

- ・ダクト取付用ネジ(3本)で、ダクトを本体に確実に取付ける。
(推奨トルク値:1.6 N・m)
取付が不完全な場合、ダクト落下の原因となります。



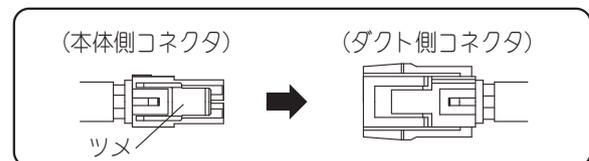
警告

施工は、施工説明書にしたがい、確実に行う。
施工に不備があると、火災・感電・落下の原因となります。



電源線の外し方

解除部を押しながら電源線を引き抜く



ご使用前にこの説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

⚠ 警告

- 器具を分解、改造しない。落下・感電・火災の原因となります。
- 万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常が発生した場合、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。
- 器具の定格の範囲で使用する。定格を超えると落下・感電・火災の原因となります。
- ダクトからのコンセント出力禁止。火災の原因となります。
- ダクトにはアースがありません。アースが必要な照明器具は取り付けない。感電の原因となります。

⚠ 注意

- お手入れの際は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。
- シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で器具を拭かないでください。変色、変質、強度低下による破損の原因となります。水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
- 器具には寿命があります。設置して10年(※)経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検交換してください。※ 使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯です。
 - ・1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。(チェックシート番号：CLX2021HA)
 - 点検せずに長時間使い続けるとまれに落下・感電・火災に至る場合があります。
 - ・周囲温度が高い場合・通電時間が長い場合などは寿命が短くなります。
- ダクトに照明器具を取付けた状態でスライドさせない。接触不良により、火災の原因となります。
- 照明器具の電線を引っ張らない。火災・落下の原因となります。
- 地震の発生後は変形、破損の有無や取付状態を確認し、異常がある場合は電源を切り、電気工事士に処理を依頼する。感電・火災・落下の原因となります。
- 照明器具は正しい向きで取付ける。逆向きに取付けると、火災・感電・落下の原因となります。
- 照明器具を取付けて使用する場合、その放射熱によりダクトの表面及び内部が加熱されるので、ダクト温度65℃以下で使用する。熱の影響で発熱し、火災の原因となります。

使用上のご注意

- ・天井面に段差やソリがあると、枠と天井に隙間が生じる場合があります。
- ・有効ダクト長さは約900mmです。それ以上の長さを要する照明器具は取付けられません。
- ・埋込ダクトに取付かない器具、直付ダクト専用器具は取付けられません。

保証について

- 保証について …… この商品の保証期間は1年間です。詳細は弊社カタログをご参照ください。
- 保証書について …… 保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
- 補修用性能部品の保有期間 …… 弊社はこの照明器具の補修用性能部品(電気部品)を製造打ち切り後、6年間保有しています。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

お手入れ

- 器具の清掃について… 水または中性洗剤を浸した柔らかい布をよく絞って汚れた部分を軽く拭き取ってください。シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。変色・変質、強度低下による破損の原因となります。

⚠ 注意

- 感電のおそれあり
お手入れ時は、必ず
電源を切ってください

■ 定格

入力電圧	定格二次電流	照明器具合計質量
AC100V	15A	15kg

パナソニック株式会社 ライティング事業部 〒571-8686 大阪府門真市門真1048

お問い合わせ先 パナソニック 照明器具・ランプ商品ご相談窓口 <https://sumai.panasonic.jp/support/>

0120-187-441(フリーダイヤル)【受付時間】月～土/9:00～18:00(祝日・三が日を除く) ※携帯電話からもご利用になれます。

0120-872-460(FAX) Help desk for foreign residents in Japan Tokyo(03)3256-5444 Osaka(06)6645-8787 Open: 9:00-17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)